



天乃逆鉾と初日出

町
議
会



高
原
町

たちばな

「高原町の町木」



86号

令和5年 10月臨時会(第7回)
11月臨時会(第8回)
12月定例会(第9回)

【目次】

あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 2

議会のあらまし・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 3～P 5

委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 6～P 8

一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 9～P 13

きらり☆たかはるびと・編集後記・・・・・・・・P 14

だより

能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災された皆様に対し心からお見舞い申し上げます。
 高原町議会では復旧・復興に役立てていただきたく、社会福祉協議会を通じて義援金をお送りさせていただきます。



議長

まえはら じゅんいち
 前原 淳一

皆様には健やかに新春を迎えられたこととお慶びを申し上げます。旧年中は私ども町議会に対しまして温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、ウクライナや中東情勢の悪化により先行きが見通せず、長期化することにより厳しい日々が続く中、野球やバレーボール、バスケットボールなど日本人選手の活躍により、日本中が沸き立つような明るいニュースもありました。

私ども町議会は、新体制でスタートして早9か月が過ぎました。本来であれば今年度中に議会報告会を開催しなければならぬところですが、協議の結果、新人の皆さんが予算議会を経験していないことから、3月議会終了後の4月に開催する予定となりました。改めてご案内を致しますので、多くの皆様にご参加頂きますようお願い致します。

さて、今年は町制施行90周年の節目の年です。多くの先人たちが鍬を振るい、幾多の苦難にも耐え、今日を築いてくれました。私たちも先人の偉業に改めて敬意を表し、失敗を恐れず挑戦することを忘れず、当局とともに町づくりに邁進していかねばならないと考えております。

結びに、本年が町民の皆様にとって実り多く、輝かしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。



副議長

じん けいすけ
 陣 圭介

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。日頃から本町議会に対してご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

元号が令和に代わり、コロナ禍にはじまる未曾有の災禍の連続を経験しながら、日常生活すらもご苦労が多い中とは存じますが、議会として一致団結し、また各議員それぞれがみなさまの声の代弁者となり、町政発展のために努めて参る所存です。

さて、昨年は議会が新体制となり、各議員とも初年度から早速町政の各種課題に取り組んでいるところ、9月議会においては、議会の在り方について検討する特別委員会が設置されました。

これは、将来の本町議会のあるべき姿につき議会自らが調査研究していくことを目的とするもので、議員の処遇、議会運営関連、なり手不足の解消に関する課題などについて、今後月に一回以上の頻度で協議を続けて参ります。

議会の在り方について、みなさまの率直なご意見を各委員に投げかけていただきたくお願いいたします。

また、本特別委員会においては、委員会の議事録を速やかに発行し、各委員に渡すように努めております。議会自身がその在り方をどのように検討しているかを記録してございますので、その経過や考え方などについて各委員に問いかけてみてください。

第7回臨時議会（10月13日）

◎議案第52号（工事請負契約）

- ・令和5年度 社会資本整備総合交付金事業（防災・安全）並木旭台線 並木工区工事について
契約金額：4,950万円

第8回臨時議会（11月9日）

◎議案第53号（一般会計補正予算第10号）

補正額：2,800万円

【歳出】

- ・台風6号による災害等廃棄物処理に係る追加経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・800万円
※倒木、土砂などの処理として
- ・設計業務委託費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,000万円
※令和8年度の学校統合に伴う高原小学校校舎改修等に係る設計業務等経費として

表決が分かれた議案の議員別賛否一覧 令和5年第8回臨時会 議決結果(内容)

議案番号	件名	議決結果	①西嶋陽代	②岩元礼子	③福澤卓志	④温水宜昭	⑤末永充	⑥外村仁	⑦郡山貞利	⑧山下香織	⑨陣圭介	⑩前原淳一
議案第53号	令和5年度高原町一般会計補正予算（第10号）	可決	○	○	●	●	○	○	●	○	○	—

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

第9回定例会（12月6日～12日）

◎議案第60号（一般会計補正予算第11号）

補正額：2億3,069万5千円

【繰越明許費（翌年度へ繰越する事業費）】

- ・高原町健康増進計画策定委託費及び消防ポンプ自動車購入事業・・・・・・・・・・2,883万1千円
※第4部配備予定の消防ポンプ自動車を半導体や自動車部品など物流遅延のため令和6年度に繰越すもの

【歳出】

- ・ふるさと納税特産品贈呈事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1億5,000万円
※当初計画していたふるさと納税額を上回る見込みとなったため
- ・高原町商工会補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・150万円
※町内の商工業者や事業者等に対し支援するもの
- ・商店街にぎわい創出事業補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・400万円
※消費喚起支援に係る経費として
- ・下広原構造改善センター屋根改修工事費用・・・・・・・・・・・・・・・・・・854万1千円
- ・公共土木施設災害復旧費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3,644万9千円
※令和5年発生 of 台風6号により被災した公共土木施設の災害復旧工事費として

◎議案第65号（一般会計補正予算第12号）

補正額：1億4,192万6千円

令和5年度予算総額：73億1,521万7千円

【歳出】

- ・原油価格・物価高騰対策支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・1億1,237万2千円
※住民税非課税世帯（1,580世帯）に対し7万円支給するもの
- ・畜産飼料高騰対策支援事業補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,250万円
※町内畜産農家（286戸）に対し1トン当たり2千円（上限40万円、下限1万円）補助するもの
- ・商工業振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・498万5千円
※町内のLED化が終わっていない街路灯すべてを対象に工事するもの
- ・高原町観光滞在・町内消費増大事業補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・206万9千円
※町内の宿泊施設（キャンプ場等含む）宿泊者に対し、町内で使えるクーポン券を贈呈するもの

◎議案第57号 高原町農業集落排水事業の設置等に関する条例

総務大臣通達（令和5年度までに公営企業会計の適用する旨）に従い制定するもの

【本条例の主なもの】

- ・農業集落排水事業の設置等に関する条例の制定
- ・職員定数条例の一部改正
※新たに農業集落排水事業3人を追加するもの
- ・設置及び管理に関する条例の一部改正
- ・分担金徴収条例の一部の改正



広原北部地区農業集落排水処理場

◎議案第58号 高原町農業集落排水事業における剰余金の処分等に関する条例

地方公営企業法に基づき補填残額があるときは、下記の目的のために積立金として積み立てるもの

- (1) 減債積立金 企業債の償還に充てる目的
- (2) 利益積立金 欠損金をうめる目的
- (3) 建設改良積立金 建設改良工事に充てる目的



高原町高齢者工芸センター

◎議案第59号 指定管理者の指定について

- ・施設名称：高原町高齢者工芸センター
- ・指定管理者の名称：社会福祉法人高原町社会福祉協議会
- ・指定の期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

◎議案第61号 令和5年度高原町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

補正額：5,730万4千円

※システム改修費、積立金として

予算総額：15億2,659万2千円

◎議案第62号 令和5年度高原町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

補正額：853万5千円

※後期高齢者医療広域連合納付金、他会計繰出し金として

予算総額：3億3,359万9千円

◎議案第63号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

子育て世代の更なる負担軽減を目的とし、産前産後期間の所得割額及び被保険者均等割額の減額規定及び届出規定を制定するもの

【本条例の主なもの】

- ・基礎課税額の減額対象期間は4か月、ただし多胎妊娠は6か月
※届出がある場合、ただちに減額処置を受けることができるが、届出がない場合であっても出産に関する確認ができた場合には減額処置に時間を有するが減額される

◎議案第64号 高原町手数料条例の一部を改正する条例

戸籍謄本等の発行方法が追加された事により改正するもの

- ・戸籍（除かれた戸籍）の謄本、抄本が本籍地以外の自治体であっても発行（広域交付）が可能となる。
- ・行政手続きをする際利用可能な戸籍（除かれた戸籍）電子証明書提供用識別符号「戸籍（除かれた戸籍）の証明が電子化されたもの」が発行可能となる。
- ※電子証明書提供用識別符号が窓口で請求された場合、戸籍電子証明書提供用識別符号が400円、除かれた戸籍電子証明書提供用識別符号が700円となる。
- ※オンラインにより個人で発行手続きを行った場合や窓口で戸籍（除かれた戸籍）証明書と同時に請求した場合手数料は不要となる。
- ・届書等情報（届書等の書類を画像情報として作成したもの）の内容に係る証明書の交付請求や閲覧請求が可能となる。

◎選挙管理委員及び補充員が当選されました。

【選挙管理委員】・飯田 芳彦氏 ・高原 清男氏 ・坂口 俊夫氏 ・西田 正利氏
【補充員】・黒木 つね子氏 ・堀川 美千代氏 ・吉永 智彦氏 ・岩元 浩氏

よろしくお願ひします。



※選挙管理委員の主な職務

市区町村の議会の議員および長の選挙に関する事務を管理し、すべての選挙について投開票を行い、選挙人名簿の作成・管理を担当します。組織委員数は4人、任期は4年。委員は、選挙権を持っている人で、人格が高潔、政治および選挙に公正な識見を持つ人のうちから、議会の議員による選挙で選ばれます。委員長は、委員の中から互選されます。

総務省：ホームページより

総務経済常任委員会 所管事務調査

日時 令和5年7月18日(火)

(1) 公営住宅等について調査

令和5年7月1日現在、202戸の公的賃貸住宅を管理しているが、耐用年数を経過した住宅や居住環境水準の低い住宅等が存在しているため、下記の通り調査をおこなった。

柳町団地	全戸数8戸、入居戸数4戸、政策空き家4戸。耐用年数(H11)が過ぎている。急傾斜崩壊危険区域に指定されている。外壁や屋根は、経年劣化が進んでいる。
二葉町団地	全戸数22戸、入居戸数13戸、空き部屋9戸。1棟(2戸)取壊し済み。家賃が安価で利便性があるが劣化が進んでいる。耐用年数(H12/H17)が過ぎている。
下村移団地	全戸数12戸、入居戸数11戸、空き部屋1戸。準平屋である。耐用年数(H18、H19)が過ぎている。
並木団地	全戸数26戸、入居戸数17戸、空き部屋9戸。(屋上に防水対策の必要性が感じられた。)
鹿児島山団地	全戸数58戸、入居戸数41戸、空き部屋17戸。一部屋上の防水工事中。
霧島団地	全戸数32戸、入居戸数29戸、空き部屋3戸(14棟) 全戸数32戸、入居戸数31戸、空き部屋1戸(18棟)
後川内団地	全戸数12戸、入居戸数8戸、空き部屋4戸



(考 察)

入居者が退去した際に壁、床の張替え等の工事がおこなわれ、次の居住者に支障がないよう管理されている。耐用年数が過ぎている団地では、財政状況を勘案し効果的に修繕対応されている状況が見受けられた。一方、入居者の高齢化が進み入居者での維持管理(草刈りなど)が難しくなっている。



(2) 水源地の現地調査

台風14号により令和4年9月19日から28日の間3,304世帯の断水被害が発生。その際、第2水源施設の埋没及び導水管の流失もあった。復旧状況などを現地調査した。

(担当課長説明)

令和5年1月25日に厚生労働省所管水道施設災害復旧査定が終了。応急工事及び導水施設土木工事も終了した。今後は、平場の2mのところ導水管を布設。今の第1水源の水を自然流下にし、その後仮設で繋いでいたポンプ及び導水管を撤去。並行して第2水源からの接合送水までの工事を行いたい。また、第1水源が足りない場合に第2水源からポンプで送水するように工事を実施する。どの位まで工期になるかわからないが令和6年3月末までに完了したい。

(考 察)

今回、調査した常盤台水源地の湧水は、町内の75%の世帯に給水されている。安全で良質な水を安定的に供給するために施設管理及び衛生管理に努められたい。また、第1水源の建屋は、コンクリートにて補強する必要がある。



1. 期 日 令和5年8月24日(木)～26日(土)
2. 場 所 群馬県つまごい嬭恋村 衆議院第二議員会館 参議院議員会館
3. 調査内容

(1) 嬭恋村役場 未来創造課「嬭恋村のスマートシティ観光システム等について」

●導入の経緯

令和元年の台風19号で、浮彫りになった問題点を解決するために、令和2年度に防災スマートシティを構築。コロナの影響で観光客が激減したことから、令和3年度に観光スマートシティ構築を行なった。

●LINEサービス活用について

LINEの利活用により、より多くの人に情報を提供できる大きなメリットを活かし、住民の安全確保、災害時における対応、防災情報発信のための防災サービスを導入した。また、村外からの観光客向けに観光情報を発信し誘客を促進することで、交流人口の増加を目指している。



(2) 地元国会議員へ要望「令和5年台風6号に伴う被害に対する要望書」を提出

※要望書については、高原町が宮崎県に提出した書類を手渡した。

○公共土木施設等の早期復旧に対する支援

○農林水産基盤の早期復旧に対する支援

・衆議院第二会館 古川 禎久 事務所

・参議院議員会館 松下 新平 事務所

〃 長 峯 誠 事務所



(3) NTTデータ経営研究所 講師 大野 博堂氏

客観指標からみた高原町の現況と課題に対し統計指標から客観的に高原町を検証して頂き、デジタル庁におけるマイナンバーカード等への対応及び、総務省の「自治体DX推進計画」に関する自治体対応について。



(4) 国土交通省 都市局街路交通施設課 企画専門官 講師 神山 秦氏

本町の砂防事業概要や大淀川水系直轄砂防事業、令和5年度の工事予定箇所の説明を伺い、宮崎県内の道路事業(直轄・NEXCO)4車線化や都城市志布志道路の整備状況(全線44km、共用率約80%)などについて。



〈考察〉

嬭恋村は、群馬県の西北部に位置し、浅間山等で多くの登山愛好家に親しまれ、人口が約9,500人でキャベツ(高原野菜)の産地である。ヤマトタケルノミコトの愛妻伝説になぞらえ、世界初の愛妻家宣言の村として有名である。今回、人口規模、観光地も同様な町である嬭恋村の歩み等、課題背景を探りスマートシティ観光システムを研修した。令和元年から取組まれ、現在は住民向けアプリが提供されている。

2日目は、議員会館・国会議事堂を視察し地元国会議員との懇談、要望等をおこない2名の関係省庁の方々から講話を頂いた。このことで、いち早く情報等を得ることが出来た。

○ごみ処理等諸問題について調査

本町が抱えるごみ処理等諸問題に関し、担当課を交え下記の通り調査をおこなった。

➤ 廃棄物処理について

霧島美化センター事務組合（令和3年3月31日解散）

- 粗大ごみ焼却施設の解体には、解体費用約5,000～6,000万円。
- 浸出水処理施設の解体には、解体費用約1億円。
※解散時に積立金が約1億円程あったが、上記の2か所の解体は賄えない。



えびの市の焼却施設

- 5年後くらいには大規模改修が必要であり、最終処分場（埋立）は10年後くらいには新最終処分場の建設が必要となる。
- 令和4年度実績の委託費は、可燃ごみ約2,890万円（灰処理代別94万円）、不燃ごみ286万円である。
※今後もえびの市にごみ処理を委託していくならば施設の改修費用一部負担が必要となる。
令和6年10月までに判断が求められている。

➤ 分別項目の簡素化の可否について

- ごみ処理はえびの市に委託しているため、搬入先の分別基準に準ずるため簡素化は困難。

➤ 自治会未加入者のごみ処理の現状について

- 平成30年3月に役場敷地内に自治会未加入世帯用の集積所を設置し、現在25世帯が利用。ゴミ出しのルールは町内の他のごみステーションと同じ。その他のごみ、リサイクル品及び粗大ごみは、直接美化センターを利用。利用者には番号を割り振り、分別間違いをした者を管理。

➤ 不法投棄の課題と対処法について

- 不法投棄の収集量は、過去3年間では20～40m³の間を変動している。悪質な不法投棄の場合は、回収したごみの中から身元の分かる証拠を見つけ警察に通報。この通報により警察が本人を出頭させ厳重注意した上で、捨てたごみの処理を強制的に行わせ回収させている。
- 空き缶、ペットボトル、廃プラが主な回収物となっており、走行中の車からのポイ捨てが多い現状である。悪質な物では、洗濯機、家具、布団等違法と分かりながら投棄されている粗大ごみもある。不法投棄は後を絶たない状況にあり対応に苦慮している現状である。

➤ ふれあい収集の現状について

- 対象：要支援・要介護の認定を受けている方や障がい者の方等であって、集積所まで家庭ごみを持ち出すことが困難な方
- 内容：曜日、日時に関係なく分別さえしていれば（リサイクル品も可）、戸別訪問でごみを収集する制度
- 費用：利用者負担なし（基本料金20,000円、1件2,500円）
- 財源：国の特別交付税50%、町50%



農林業振興対策と課題について



ぬくみず よしあき
温水 宜昭議員



(一般質問の様子)

問 本町の農林業形態の現状と課題は。

答 専業・兼業併せた農家戸数は662戸。肉用牛関係が150経営体で認定農業者の7割を占めている。林業関係は6経営体である。課題として農林業共に担い手不足を懸念している。

問 農業へ新規従事者の現状と支援策は。

答 新規認定農業者数は直近3年間で11名である。又、国・県の人材投資事業等を活用して支援を行っている。

問 地域計画の目的と取り組みは。

答 地域農地の適切な利用を図る為、農地の集積・集約化を進める。本町では、実質化された「人・農地プラン」の13地区エリアで目標地図(案)をお示しし、順次地域での協議の場を設けて進めていく予定。

問 第5期の中山間地域等直接支払制度が見直されたが本町での現状は。

答 遡及返還事例は令和5年度1件1筆で農業所得要件による事例は、令和2・3年度で各1件であった。

問 本町の有害鳥獣による被害状況と対応策は。

答 今年度は現在28件の被害報告を受けており、被害の大半がイノシシやシカによる飼料作物や水稻である。対応策として、補助事業を活用した防護柵の設置や捕獲に関しても、捕獲業務受託者や有害鳥獣捕獲対策協議会による罠の設置等により、駆除にあたっている。



上後川内地区にて撮影

問 森林保全についての対応は。

答 伐採後の植林に係る経費の一部を補助することにより、所有者の負担軽減を図り、高原町再造林支援事業による再造林への推進に努めていく。

最優先課題、町立病院問題！



こおりやま さだとし
郡山 貞利議員



(一般質問の様子)

●町立病院

問 病院職員の退職希望者数と、一般行政職への異動者数は。

答 数は未だ確定しておらず調整中であるが、現時点での病院から一般行政職への異動者数は4名である。

問 常勤医師2名確保、病床数を56床から40にすることにより、人件費はどれ程削減できるのか。

答 最終的な職員数が確定しておらず、申し上げられる段階にない。

問 令和4年度と比較して6年度は約1億2千万円の削減、常勤医師2名になるため入院収益増を見込んでいるとあるが、常勤医師2名以上いた過去においても10年間で9億円以上の赤字になっていることについて。

答 病床数を56床から40床とし、単価の高い地域包括ケア病床を10床から26床とし、入院収益を上げていく。



●学校統廃合後の地域振興

問 廃校予定である地域に対する振興計画は、現在どのようなものがあるのか。

答 現時点では具体的なものは無い。今後地域と連携しながら、速やかに振興策を進めていく。

意見 廃校後の学校跡地の荒廃と管理の所在について、地域の方々が懸念されている。廃校と同時に振興計画を進められるよう、住民の意向調査をまとめていただきたい。

じわじわと変わってるの？



やました かおり
山下 香織 議員



(一般質問の様子)

●病児保育施設

問 町営の病児保育が出来ないか。

答 町内2施設で実施している。町営の考えはない。

●土地・建物の問題

問 高原高校跡地と、どの様に関わっていくのか。

答 運営協議会と協議し調整していく。

問 小学校新校舎建設の計画はあるか。

答 今は言及できない。

問 高原小学校改修工事は。

答 必要最小限の改修を行う。

●教育行政

問 勉強に意欲的な子供が積極的に学べる取組はあるか。

答 個別最適な学習の充実を進め、ICT機器活用等の推進をしていく。

問 ワークショップ形式の学びの場が創出出来ないか。

答 幅広い地域住民の参画を得て、学びや成長を支える活動を推進していく。

●観光振興

問 観光パンフレットの更新が必要だが。

答 創意工夫していく。

問 今年の発祥地祭りを振り返っての考えは。

答 中学生が実行委員となるなどして盛り上がった。今後も町内外へ周知・アピールしていく。

●町民説明会

問 町立病院財政報告資料算出方法は。

答 令和4年度の決算を基に作成し、病院長と協議を重ね方針を決定した。

問 説明会終了後の感想・改善点は。

答 町民に一定の理解が得られた。今後も分かりやすく伝えていく。

●県の地域猫事業

問 本町の不妊手術実施頭数は。

答 11月28日現在5件の申込、問合せ1件、実施済1件(20匹)。

問 住民に地域猫問題の周知が必要だが。

答 説明していく。

●ワクチン接種

問 各種ワクチン接種率は。

答 子宮頸がん7・8%、带状疱疹は不明、コロナ初回90%(6回目接種22%)、インフルエンザ助成対象者58%。

問 各ワクチンの助成拡大は。

答 令和6年以降のコロナワクチンは未定、近隣自治体の状況を見ながら検討していく。

国土保全と人事について



すえなが みつる
末永 充 議員



(一般質問の様子)

●災害に強い地域づくり

問 町民の安全安心の確保をどう進めていくのか。

答 行政区単位で自主防災組織研修会を実施する。

問 令和4年台風14号による常盤台水源地の水道施設の災害復旧状況は。

答 現在の状況は、水道施設関連が約60%、道路災害、法面災害が30%の復旧である。

問 線状降水帯などで通水断面不足を生じているが。

答 県の補助事業等を活用して、被害防止に努める。

問 令和6年4月に水道整備・管理行政が厚生労働省から国土交通省及び環境省へ移管される。機能強化を図る必要があるか。

答 水道施設及び既設管路の更新計画の見直しを行い、長期的な整備計画を確立する。

問 甚大な被害を受けた広原・常盤台地区に雨量計を設置しては。

答 雨量観測システムの実証実験的设置に向け、旭台ファームポンドへ年内に設置する。

問 台風6号における災害復旧について、鷹巣神社付近の道路及び広原浄水場の対策は。

答 12月の査定受検後、道路災害復旧を行いその後、配水管の本復旧を行う。令和6年度中の完成を目指したい。

●人事について

問 病院職員の一般職への配置転換は。

答 4名の配置転換を行った。今後も病院との調整を図り随時行う。

問 人事院勧告を上程しなかった理由は。

答 まだ結論は出していない。町民に対し一定の理解を得た上で検討していく。

問 技術系職員の確保は。

答 11名の職員が在籍し、5名が55歳を超える職員である。今後、職員の確保を図る。



広原・常盤台地区を網羅する雨量計

病院の経営改善を早急に！



けいすけ 圭介議員
じん 陣



(一般質問の様子)

●町長の政治姿勢

問 病院の財政が厳しいのは平成27年度から。病床機能や経営改善に関する提案をずっと続けている。なぜ今まで半ば放置されたようになっていたか。

答 病院が今後も一般会計に及ぼす影響が続く点はどうしても改善しなければならぬ、そういう時期であると考えている。

●職員等の損害賠償責任

問 地方自治法243条の2の規定の趣旨に鑑み、免責条例を制定すべきでは。

答 まずは情報収集に努め、職員の間には賠償責任保険を周知する。

●病院事業

問 地域包括ケア病床の設置は平成30年。増床をなぜ今までやらなかったか。

答 病院内部で検討してきたが、職員シフト、医師の確保を含め、今回

となった。

●国保制度

問 応益割の配分割合について、是正の必要性は。

答 本賦課の際には複数のパターンで検討していきたい。

問 保険料統一化へ向けた県の姿勢は。

答 令和6年度から11年度の間に、統一範囲や目標年度を議論予定。まずは三方式へ移行する意思表示がされている。

●職員再任用

問 定年年齢引き上げに伴い、職員の定員管理については新たな考え方の整理が必要では。

答 総務省通知に基づき、現在見直しを行っている。

●シルバー人材センター

問 委託料の適性につき、例えば近隣市町村と比較する等の検討は。

答 町で設計しシルバーに見積を提出してもらい金額の妥当性を判断している。水道メーター検針等も町の規定で実施し不当に安くはない。近隣の比較は行っていない。

高原町のPRにもっと工夫を！



まえはら じゅんいち 淳一議員



(一般質問の様子)

●学校統廃合

問 高原小学校改修工事に伴う設計委託料2,000万円は高すぎるのでは。

答 校舎の床、壁を含む改修、老朽化した部分の取り替え、耐震化に問題ない増改築も含んでおり、必要最小限の改修とする。

問 乗り入れ授業の体制づくりは。

答 見通しが持てるのは令和7年度になる。

問 高原中学校への併合は。

答 現段階では言及できない。

●観光と農業

問 天乃逆鉾と神武天皇を活かした町づくりを。

答 本町ならではの地域づくりや活性化に波及させていくべきと考える。商工会、観光協会、JA、地域商社等と連携し、幅広く天孫降臨伝説・日本発祥地としての誇りや感動、興味を持たせるようにしていく。

問 日本発祥地を活かしたPRは。
答 高原町地域づくり団体ネットワーク協議会の中で、協議が行われている。まずは町民が歴史や文化、地域資源を誇りに思い大切にすることが原動力になる。

問 神武様御神幸行列におけるPRにもっと工夫を。
答 主催者側からの提案もある。今後検討していく。

問 皇子原は「みこばる」と読める。本町の米を天皇家ゆかりの「みこばる米」としてブランド化できれば視察者も増え、結果として観光に繋がる。
答 米を含めブランド化に取り組んでいく。ネーミングの大切さも検討していく。



町民の要望に対する迅速な対応を！



ほかもら ひとし
外村 仁 議員



(一般質問の様子)

●学校跡地利活用

問 学校統廃合後の跡地利活用について、各地域で管理団体を立ち上げる考えは。

答 地域運営組織の設立に向けた情報収集や調査研究を図り、各地域の皆様と地域コミュニティを支える仕組み、組織の形成・運営支援等について議論をしていく。

●各種申請書（電子申請の対応）

問 現在の電子申請（マイナンバー）の対応範囲は。

答 子育てが12手続き、介護が11手続き、被災者支援が1手続き、転入転出が1手続き、税の申告が1手続き申請可能である。

●農畜産業の現状

問 飼料肥料の高騰に対して町独自の支援は。

答 国からの重点支援交付金の追加

を財源とした支援事業を検討している。

問 ブランド米創出の考えは。

答 町内で採取した水にシリカが非常に多く含まれているとの情報があり、栽培講習会という形で意見交換を行った。土・水と管理の部分合わせた中でブランド米ができないか模索していく。

●町長の構想進捗状況

問 工業団地の町民の雇用人数は。

答 全体雇用人数244人中、町民の雇用人数88人。

問 観光協会や地域商社と連携して旅行プランの創出版売等を行っているか。

答 旅行プランについては実現に至っていない。旅行業の資格を持つ方との連携を模索している。

問 子育て支援条例の進捗状況は。

答 国から示される時期に合わせて内容を検討し、設置に向けていく。

問 学童保育の充実について現状は。

答 5つの施設が稼働しており待機児童はゼロ。

さらなる子育て支援を



にしじま はるよ
西嶋 陽代 議員



(一般質問の様子)

●子育て支援

問 子育て支援センターの利用者は。土曜日、開所はできないか。



答 1日平均10名前後。年明け、子育てニーズのアンケート調査を予定しており、検証が必要と認識している。

問 ファミリー・サポート・センター事業について、現在のサポーターの登録人数と今後育成する計画はあるか。

答 支援を受けたい方17名、支援をしたい方3名の登録で、円滑な支援が困難。利用方法の周知、制度の周知を徹底する。

問 病児保育と病後児保育の利用に関して、保育を必要とする要件に該当する場合、無償化の対象となるのか。町外施設利用ではどうなるのか。

答 月額2千円を上限とした、利用料補助を検討している。

一般質問 11月が問われたら



問 子どもの医療費助成制度、高校卒業まで助成できないか。

答 国の動向を見ている。県内の状況を見て検討する。

問 学校給食費の無償化は。

答 半額助成を継続する。

●町立病院

問 運営の具体的なプランと、医師確保は。

答 経営強化プランを年明け早々に説明する。医師確保に引き続き努める。

●高齢者の予防接種

問 带状疱疹ワクチンの費用助成は。

答 町村会で要望を出している。町単独で取り組むか検討する。

●役場前の街路

問 花壇の整備を町民に募集して行うのは。

答 今は、年2回、外部委託している。早い段階で対応する。

生み出すかと、更なる工夫と改善を求む



ふくざわ たくじ 福澤 卓志 議員



(一般質問の様子)

● 町立病院

問 透析等の高収益診療の考えは。
答 規模縮小していくため難しい。
問 人間ドックは。
答 難しい。

問 今後の経営の方向性は。
答 2市1町連携強化を行い、地域包括ケアに力を入れていく。

問 H Pや広報誌の更新が必要だが。
答 適宜更新していく。

● 健康行政

問 喫煙者への対応は。
答 敷地内・公用車禁煙とし、昼食等休憩中に自宅や車の中で行われている。
問 健康ポイント事業は、グラウンドゴルフ等各種スポーツの参加者も該当するか。
答 対応している。

● 防災行政

問 防災倉庫内点検の状況は。

答 集中管理している。

問 何人の想定か。

答 設置場所(ほほえみ館) 50人、(各小学校) 30人。

問 災害における家庭内備蓄の周知は。
答 概ね3〜7日間の備蓄が必要、広報等で周知していく。

問 間こえない防災行政無線の対応と個別受信機は。
答 防災メール・公式LINE等でも発信しており、個別受信機は検討段階。

問 防犯カメラの設置状況は。
答 防犯カメラは、公式LINE等でも発信しており、個別受信機は検討段階。

問 防犯カメラの設置状況は。
答 防犯カメラは、公式LINE等でも発信しており、個別受信機は検討段階。

● 観光行政

問 町内案内表示板の更新状況は。
答 令和5年度は新調や張替え等含め10ヶ所。
問 高天原(焼酎)の販売に工夫が必要だが。
答 5合瓶を含め販路拡大に努める。



● 総務・教育行政

問 チャットG P Tなどの生成AI行政活用状況は。
答 検討中。
問 教育における生成AI活用状況は。
答 活用はないが、国・県に準じる。

議会の動き (10月3日~1月15日)

- 臨時会・・・10月13日(会期1日間)・11月9日(会期1日間)
- 定例会・・・12月6日~12日(会期7日間)
- 議会運営委員会・・・5回(10/13・11/9・11/22・11/28・12/11)
- 全員協議会・・・7回(10/13・10/13・11/9・11/22・12/1・12/11・12/12)
- 総務経済常任委員会・・・1回(12/11)
- 文教厚生常任委員会・・・1回(12/11)
- 議会だより編集委員会・・・4回(12/12・12/26・1/11・1/15)
- 公共施設の在り方検討特別委員会・・・2回(10/18・11/22)
- 議会の在り方検討特別委員会・・・3回(10/18・11/22・12/11)

議会を傍聴しませんか？

YouTubeでもご覧いただけます。

3月定例会は

3月6日(水)~

※質問者数により日程が決まります。

本会議は午前10時開会

請願・陳情を出される方は2月27日(火)までにご提出ください。

高原町議会事務局 ☎42-5138



※詳細は町公式ホームページにて



きらり★たがはるびと

あなたの夢を
応援します!!

議会だより
たがはるびと
No. 86



祝いはたちの集い



神楽を舞った子どもたち



編集後記

能登半島地震により犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。依然として予断を許さない状況が続いていますが、被災地域のみなさまの安全確保、そして一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

そして、高原町では年末年始に大切な行事がたくさん行われました。二十歳の集いに参加されたこれからの時代を担っていく若者達も、神楽の伝統を引き継いで舞う子供達も、皆さんとても素敵な笑顔を見せてくれています。そんな笑顔が失われないように、今一度私達に何が出来るのかを考え、行動していかなければならないと強く感じました。

大変な時こそ身近にいる方との時間を大切にし、笑顔がたくさん溢れる高原町になるよう、私達も笑顔で尽力してまいります。

編集委員 山下 香織



高原町消防団女性部



発行日/令和6年2月1日 ■発行/高原町議会 ■編集/議会だより編集委員会
0994402 富山県西諸県郡高原町大字西隣899番地 0984)4215138